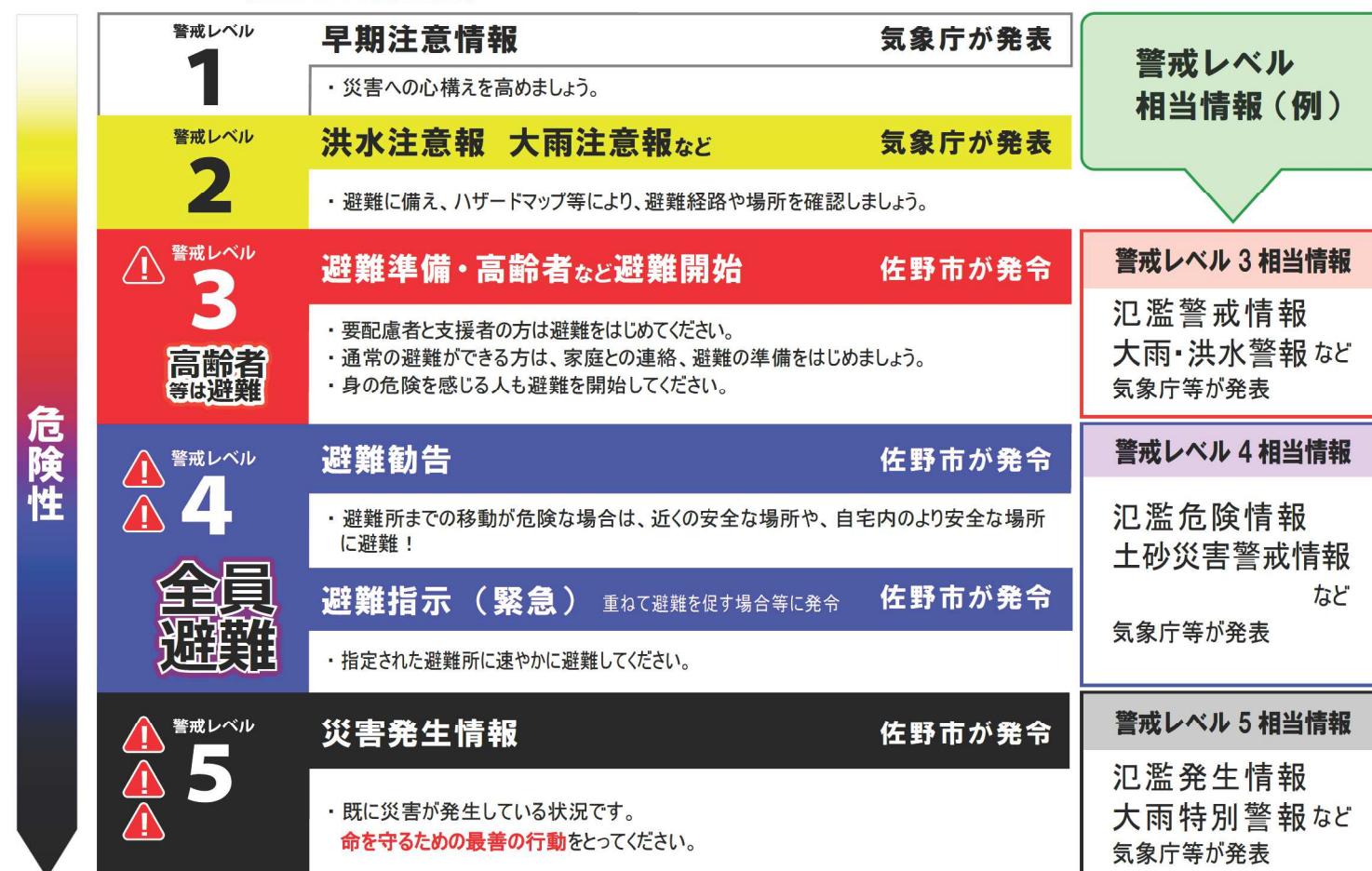
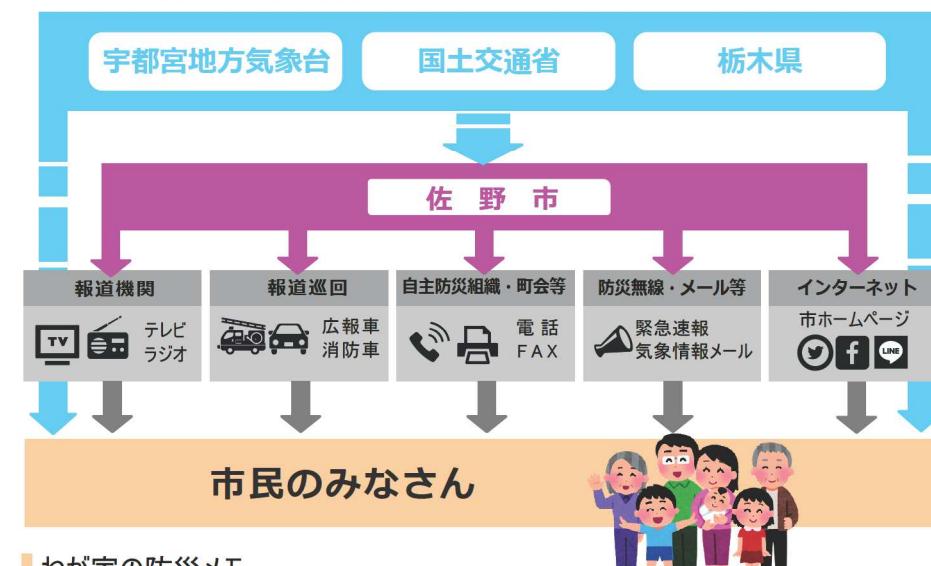


警戒レベル4で全員避難!!

▶ 避難情報・防災気象情報 (令和3年3月時点)



▶ 避難情報の伝達経路



わが家の防災メモ

▶ 避難情報の収集経路



危険回避!! 未然に防ぐ!!

災害が起きる前に知っておこう!!

ため池ハザードマップ

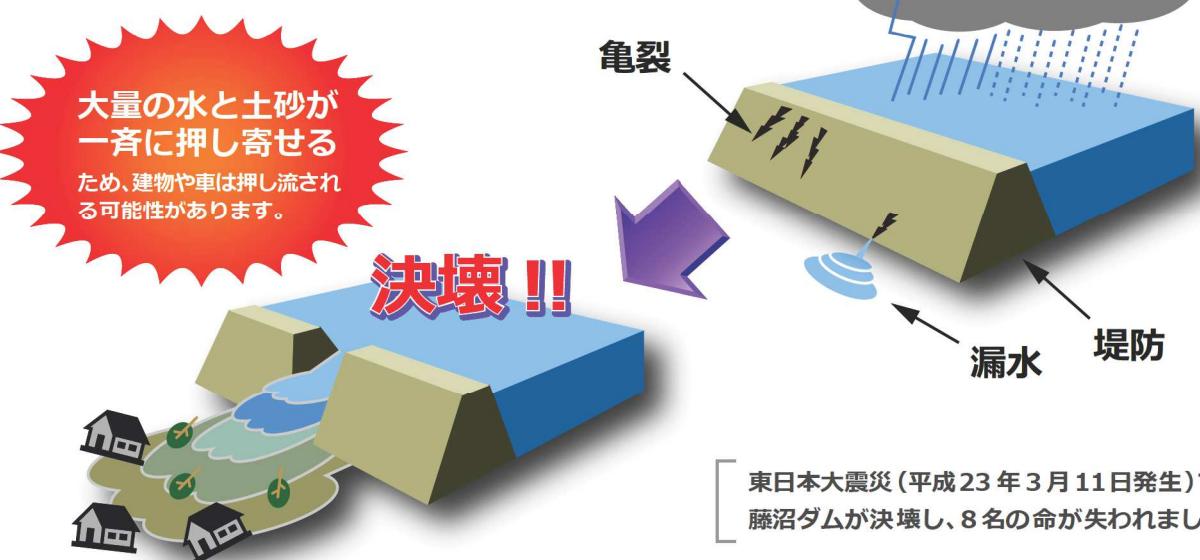


大富士溜

ため池ハザードマップとは?

農業用ため池が決壊する恐れのある場合または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するためのツールです。このマップを通じて各町会や自主防災組織において、想定される災害を事前に知り、地域における避難方法等を検討し、平常時からの防災活動や防災意識の向上に役立てて下さい。

▶ ため池の決壊



東日本大震災(平成23年3月11日発生)では、福島県の藤沼ダムが決壊し、8名の命が失われました。

ため池決壊の原因

■ 大雨のとき



台風や集中豪雨によって、ため池の水位が上昇すると、ため池の決壊の危険性が高まります。

■ 地震のとき



大地震が発生すると、堤防は異常な力を受けて亀裂や沈下が発生し決壊することがあります。

大地震直後に決壊しなくとも余震で決壊することもあるので注意が必要です。

ため池ハザードマップの作成条件

ため池が満水状態のとき、貯められている水が決壊によって一気に流れ出す状況を想定しています。流れ出す水がなくなるまで、時間毎のシミュレーションを実施しています。なお、実際の浸水区域は、ため池の貯水量、被害の程度、周辺の土地利用状況や天候などにより異なります。

ため池ハザードマップ (浸水想定区域)

大富士溜 (下流に砂防ため池あり)

所在地：富士町
総貯水量：4,200m³
堤高：6.0m



凡例

決壊による浸水の深さ

- 5.0m以上
- 3.0m～5.0m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 0m～0.5m未満

- 到達時間
- 避難所

想定浸水深の目安

浸水深の色の見方

2階の天井以上まで
つかる程度

5.0m以上

1階の天井から
2階の天井近く
までつかる程度

3.0m

1階の床から
1階の天井まで
つかる程度

0.5m

1階の床下までつかる程度

ため池が満水時に決壊した場合の最大浸水区域をしめしたものです。万一に備えて日頃からこの地図を活用し、避難所や避難方法について確認しておきましょう。

0 250 500m

